



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月29日

上場会社名 三菱化工機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6331 URL <http://www.kakoki.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高木 紀一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山口 和也 TEL 044-333-5354
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	6,005	△6.4	△293	—	△458	—	△310	—
28年3月期第1四半期	6,417	27.0	24	—	75	—	70	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △566百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 558百万円 (60.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△3.92	—
28年3月期第1四半期	0.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	38,119	14,852	39.0	187.86
28年3月期	41,211	15,813	38.4	200.02

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 14,852百万円 28年3月期 15,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,500	11.8	△250	—	△220	—	△180	—	△2.28
通期	41,000	4.3	1,300	△27.1	1,400	△10.1	960	△16.6	12.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	79,139,500株	28年3月期	79,139,500株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	80,179株	28年3月期	80,007株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	79,059,436株	28年3月期1Q	79,061,455株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3） 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続きましたが、円高の進行を背景に企業収益の改善は鈍化し、企業の業況判断が慎重さを増す中、民間設備投資及び個人消費は伸び悩みました。また、新興国経済の減速、英国のEU離脱問題等、海外経済の不確実性の高まりもあり、景気の先行き不透明感が強まりました。

このような事業環境の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は、6,005百万円と前年同四半期に比べ6.4%の減少となりました。損益面におきましては、売上高の減少による売上総利益の減少、見積設計費や研究開発費をはじめとした販売費及び一般管理費の増加もあり、当第1四半期連結累計期間における営業損失は293百万円（前年同四半期は24百万円の利益）となりました。また、保有する外貨建資産に対する為替差損等により経常損失は458百万円（前年同四半期は75百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は310百万円（前年同四半期は70百万円の利益）となりました。

なお、当社グループでは、売上高が上半期に比べ下半期に、また、第2四半期連結会計期間末及び連結会計年度末に偏る傾向があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

エンジニアリング事業については、売上高3,323百万円（前年同四半期比13.0%減少）、営業損失590百万円（前年同四半期は343百万円の損失）となりました。

単体機械事業については、売上高2,681百万円（前年同四半期比3.3%増加）、営業利益296百万円（前年同四半期比19.5%減少）となりました。

なお、当連結会計年度よりセグメント利益を経常利益から営業利益に変更しております。

また、前連結会計年度のセグメント利益については、上記の変更を踏まえて作成した情報を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,091百万円減少の38,119百万円となりました。これは、現金及び預金の増加3,432百万円、仕掛品の増加704百万円等がありましたが、受取手形及び売掛金の減少6,518百万円、株価下落に伴う時価のある有価証券の評価差額の減少等による投資有価証券の減少669百万円等の影響によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,130百万円減少の23,267百万円となりました。これは、電子記録債務の増加427百万円、賞与引当金の増加324百万円等がありましたが、支払手形及び買掛金の減少1,817百万円、前受金の減少221百万円、未払法人税等の減少217百万円、退職給付に係る負債の減少116百万円、その他流動負債の減少300百万円等の影響によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ961百万円減少の14,852百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失の計上、剰余金の配当等による利益剰余金の減少705百万円、主として投資有価証券評価差額金の減少によるその他包括利益累計額の減少256百万円等の影響によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更が当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,734	8,166
受取手形及び売掛金	17,647	11,129
製品	761	813
仕掛品	1,639	2,344
材料貯蔵品	942	941
その他	1,355	1,307
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	27,080	24,702
固定資産		
有形固定資産	4,822	4,769
無形固定資産	350	356
投資その他の資産		
投資有価証券	8,763	8,094
その他	200	201
貸倒引当金	△6	△4
投資その他の資産合計	8,958	8,291
固定資産合計	14,131	13,416
資産合計	41,211	38,119
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,088	8,270
電子記録債務	—	427
1年内返済予定の長期借入金	200	200
未払法人税等	243	26
前受金	1,014	793
賞与引当金	606	930
完成工事補償引当金	137	121
受注工事損失引当金	19	20
その他	1,206	905
流動負債合計	13,516	11,695
固定負債		
長期借入金	2,600	2,600
役員退職慰労引当金	111	68
P C B 処理引当金	17	17
退職給付に係る負債	7,947	7,830
その他	1,205	1,054
固定負債合計	11,880	11,571
負債合計	25,397	23,267

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,956	3,956
資本剰余金	4,202	4,202
利益剰余金	7,429	6,723
自己株式	△18	△18
株主資本合計	15,570	14,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,878	2,431
繰延ヘッジ損益	13	8
為替換算調整勘定	△126	△17
退職給付に係る調整累計額	△2,522	△2,435
その他の包括利益累計額合計	242	△13
純資産合計	15,813	14,852
負債純資産合計	41,211	38,119

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	6,417	6,005
売上原価	5,154	4,751
売上総利益	1,262	1,253
販売費及び一般管理費	1,238	1,547
営業利益又は営業損失(△)	24	△293
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	94	89
その他	9	0
営業外収益合計	104	90
営業外費用		
支払利息	12	8
為替差損	31	240
その他	8	6
営業外費用合計	53	255
経常利益又は経常損失(△)	75	△458
特別利益		
投資有価証券売却益	—	35
特別損失		
投資有価証券評価損	—	18
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	75	△441
法人税、住民税及び事業税	53	32
法人税等調整額	△48	△164
法人税等合計	4	△131
四半期純利益又は四半期純損失(△)	70	△310
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	70	△310

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	70	△310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	355	△447
繰延ヘッジ損益	—	△4
為替換算調整勘定	35	108
退職給付に係る調整額	97	87
その他の包括利益合計	488	△256
四半期包括利益	558	△566
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	558	△566
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリング事業	単体機械事業	
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	3,821	2,595	6,417
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,821	2,595	6,417
セグメント利益（△は損失） （営業利益（△は損失））	△343	368	24

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリング事業	単体機械事業	
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	3,323	2,681	6,005
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,323	2,681	6,005
セグメント利益（△は損失） （営業利益（△は損失））	△590	296	△293

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より当社グループの経営管理指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益を経常利益から営業利益に変更しております。

また、前第1四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失については、上記の変更を踏まえて作成した情報を記載しております。